

K.S.J.

KAGAWA SHINREN JIHO
KAGAWA SHINREN KUMIAI RENGOKAI

香川県森連時報

38

令和5年1月発行(年2回/1月・7月)

謹賀
新年

新年のご挨拶

森は地球の財産です。

JForest



会長新年のご挨拶

香川県森林組合連合会 代表理事会長 五所野尾 恭一



新年明けましておめでとうございます。

森林組合の役職員をはじめ組合員の皆様方におかれましては、ご健勝にて新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げますとともに、平素より本会の業務運営につきまして格段のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年も新型コロナウイルス感染症の猛威は続き、感染防止対策から社会経済活動との両立への転換が進められているところですが、昨年末より新たな感染拡大が始まっており、ウクライナ問題を始めとした世界情勢の混迷と合わせて、経済への影響が懸念されるところです。

その一方で、カーボンニュートラル社会の実現に向け、森林の多面的機能の発揮への県民の期待は高まっており、森林組合系統には地域の森林管理の担い手として、地域の森林を協同の力で育て守り続け森林環境保全と林業発展を通じ、地球温暖化防止に向け中心的な役割を發揮することが求められています。

こうした状況を打開するため、本県においては県産材の更なる需要拡大を実現させるとともに、持続的かつ安定的な供給体制の構築や流通加工体制整備を目指し、豊かな森林資源を活用して県産材生産サイクルを活性化させ、林業経営・林業従事者の所得向上など、山村地域を活気づけていくことが不可欠であります。

さらに、平成31年度から国の森林環境譲与税が創設され、県民の森林への期待は益々高まっていますが、市町における活用状況は低調で、更なる森林整備への活用促進を図る必要があります。

これらを踏まえ私たち森林組合系統では、「JForest香川県ビジョン2030」を策定し、地域森林の適切な利用・保全と林業経営のさらなる発展に向け、森林所有者の経済的利益の向上や地域社会の活力創造が推進されるよう、引き続き組合員の皆様と一体となり森林・林業の諸課題に取り組む所存であります。

最後になりますが、会員の皆様をはじめ関係機関各位のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様方のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

謹
賀
新
年

香川県森林組合連合会
代表理事会長 五所野尾恭一
副会長理事 佐々木 博
代表理事専務 道久 工
理 事 三角 正博

理 事 松浦 可稔
理 事 三宅 義明
理 事 井上喜代文
理 事 宮本 欣貞
理 事 大西 洋造

理 事 細谷 浩章
理 事 松原 壯典
代表監事 大谷 徳
監 事 大西 要
監 事 行梅 義照

報告 新規採用職員紹介



山田 裕貴

令和5年1月1日付けで採用になりました山田 裕貴（やまだ ゆうき）と申します。

前職では鉄道会社で主に運行管理業務に従事していましたが、山や自然と関わる仕事がしたいと思い転職を決意しました。これからは責任感と忍耐強さを武器に森林の存続や発

展、県民の皆様の生活の充実に貢献したいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。



的場 茉夏

令和5年1月1日付けで採用になりました的場 茉夏（まとば まなつ）と申します。

大学時代には学生ボランティア団体に所属し、地域活性化や環境美化について学びました。林業に関する専門知識もなくまだまだ未熟ですが、地元の香川県が持続可能な社会

であるため、事業の一翼を担う職員になりたいと考えています。よろしくお願いいたします。



報告 森林組合若手職員研修会開催

9月2日（金）本会2階会議室において、森林組合若手職員研修会を開催しました。農林中央金庫高松支店四国営業部木村次長を講師に迎え「森林組合系統に求められるコンプライアンス・接遇マナー」、林業・木材製造業労働災害防止協会香川県支部熊野事務局員による「林業労働安全衛生の遵守」、また香川県環境森林部みどり整備課竹本課長より「香川県の森林・林業施策」、全国森林組合連合会組織部淡田部長より「森林・林業の現状と森林組合系統組織」の研修を行いました。本会も含め、県内の森林組合若手職員が多数参加し、熱心に受講しました。

報告 かがわ協同組合連絡協議会の清掃活動に参加

令和4年10月1日（土）本会をはじめとする県内の10団体で構成する「かがわ協同組合連絡協議会」は、沙弥島海岸で清掃活動を実施しました。同協議会は協同組合の価値や社会における役割を県民に認知してもらい、連携して新たな価値を創出することを目的に平成25年6月に設立されたもので、持続可能な開発目標「SDGs」を取り入れた社会貢献活動として、総勢約51名が坂出市万葉会館にて海ごみ講座を受け、その後沙弥島海岸の清掃を行いました。同協議会は使用済み切手を回収し香川県ユニセフ協会に贈呈するなどの活動も行っています。

**報告** 「2022ウッディフェスティバル」に参加

令和4年10月8日（土）、9日（日）の両日、市内のイベント会場「サンメッセ香川」において、【森やみどりと共にある暮らし「第33回ウッディフェスティバル」】が開催されました。木とふれあうことで、木材の良さを感じてもらい、県産木材に関心を寄せてもらうイベントで、子どもたちも参加できるモクモクおもちゃ広場や林業機械のシュミレーターが体験できるブースもあり、皆さん楽しんでいました。本会も参加し、普段見ることのない大きさのチェーンソーや作業服を展示し、来場者の方に林業の仕事をPRすることができる良い機会でした。

**報告** JForest全国森林組合代表者大会に出席

令和4年10月25日（月）東京都中央区の銀座プロッサム中央会館において、令和4年度全国森林組合代表者大会が開催され出席しました。大会ではJForest森林組合綱領唱和、主催者挨拶、来賓挨拶、来賓紹介のあと表彰が行われ、香川西部森林組合の久保昭氏及び香川県森林組合連合会の阿倍正嗣氏の2名が功労者表彰を受けられ、大会は意見表明の後、3つの大会決議を採択して閉会しました。

**報告** 林業労働安全衛生研修会開催

令和4年11月2日（水）塩江町森林組合、16日（月）香川西部森林組合及び仲南町森林組合、28日（月）香川東部森林組合において、林業安全技能師範 陶山芳伸氏を講師に迎え、林業労働安全衛生研修会を行いました。研修会では昨年に引き続き、来賓として労働局、香川県庁みどり整備課、四国森林管理局香川森林管理事務所の担当者から労働災害の現状と災害防止対策の講義があり、その後グループに分かれて林業・木材製造業労働災害防止協会が作成した簡易リスクアセスメント記録書に基づき、危険性又は有害性の洗い出しや、その低減対策を検討し発表を行いました。総勢125名の林業事業者関係者が出席し、チェーンソー作業従事者は振動特殊健康診断も行いました。

**報告** 県知事及び県議会に要望書提出

令和4年11月11日（金）本会と県内森林組合長会議は、低迷が続く林業情勢の中で、森林環境譲与税の有効活用、県産木材の流通加工体制整備、担い手育成・確保、森林整備に必要な予算の確保等、県産木材の利用促進、里山資源の利用促進について、池田香川県知事並びに高城香川県議会議長に要望書を渡し陳情を行いました。



池田香川県知事㊦



高城香川県議会議長㊦



報告 第45回全国育樹祭に出席

令和4年11月13日(日)秋篠宮ご夫妻ご臨席のもと、大分県豊後大野市の「大分県民の森 平成森林公園」において「豊かなおおいた森林を育み木と暮らし」をテーマとして、第45回全国育樹祭が開催されました。秋篠宮さまは、上皇ご夫妻が2000年に植樹したアカガシなどの手入れを行い「その木が健やかに成長していることに大変うれしく思いました」と述べられました。

メインテーマアトラクションでは「始まりの地から、未来へ」をテーマに、ダンスや歌声が会場に繰り広がり、森林を未来に伝える想いが発信され、本県の森林組合の役職員が出席しました。



報告 協同のちからでできること～防災キャンプ～に参加

11月26日(土)交流の里おうごしにおいて、かがわ協同組合連絡協議会主催による防災イベントに参加しました。自然災害に対する危機感、知識の欠如への問題意識が高まる中、防災に関する基礎知識をつけることによって防災意識と防災力を高めることと、協同組合間で協力しながら取り組むことによって協同組合の理念である協同の精神を育む目的で開催されました。10班に分かれ、テント・ターフ設営、防災食の試食体験、火おこし体験や防災グッズづくり、ロープワーク等を行い、各々の他組織との交流を深め、連携の大切さを実感することができました。



特集 さぬき空港公園便り

本会が平成24年度からさぬき空港公園の指定管理に取り組み始めて、11年目となりました。3期目を迎えることができたのも、関係各位の多大なるご支援や、公園をご利用下さる来園者の皆様のご協力によるものと深く感謝するとともにお礼申し上げます。

来園者の方々がより良く公園を利用していただくため、和式トイレを全て様式化にし、園内の案内看板の英語表記追加や、緊急時の通報プレートの設置、東屋やベンチの新規設置などを行いました。またアドベンチャーゾーンの体験広場では、一輪車や自転車の練習で大変好評の一輪車用の手すりを20mから40mに延長し、劣化していた広場のアスファルト舗装は全て再舗装が完了しました。最近ではスケートボードの練習に利用される方が大きく増加しています。



今年開催したイベントとしては、「真夏の雪遊び」、「グラススキー感謝祭」、「鳥人広場花壇植え付けボランティア」、福祉施設と合同で「障害者ランドゴルフ交流大会」、そして今回新たに「高松空港周辺施設合同ハロウィンスタンプラリー」を開催するなど、多くのイベントに取り組んでまいりましたが、干ばつ



による取水制限のため噴水イベントは中止になり、噴水自体も制限が解除された9月下旬まで稼働できなかったため、水遊びを楽しみにされていた方々から多くのお問合せを頂きました。来年度は

取水制限等がなければ、盛大に噴水を利用したイベントを開催したいと考えております。また公園でのキッチンカーの出店の誘致やマルシェ等の新たなイベントも検討中で、「さぬき空港公園開園35周年記念祭」に向けてイベントの企画立案中であります。



グラススキー場については臨時休業こそありませんでしたが、新型コロナウイルス感染症防止対策のため、グラススキー・そり共に利用者定員の削減を実施しております。

なお、当公園では、今後とも多くの県民の方にさぬき空港公園を知っていただき、多くの来園者の方々にさぬき空港公園を楽しんでもらえるよう周辺施設と連携し、空港周辺施設の案内マップ(多言語対応)の作成や、合同のInstagramによるPR活動を行うとともに、多くの方が楽しみにしている春の花見に向けても開園時間の延長準備に取り組んでいますので、時期や期間、桜の開花予報や開花状況等をホームページ(<https://sanuki-airport-park.com/>)やその他の広告媒体でも随時お知らせしてまいります。

最後となりますが、これからもスタッフ一同公園の適切な管理運営と県民サービスの向上に全力を挙げて取り組んでまいりたいと存じますので、これまで同様にご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

